

・当資料は、「グッドステージ-新変額個人年金保険」の各特別勘定が主たる運用対象とする投資信託について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・当資料で開示される投資信託の運用状況等はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定のユニット・プライス等については、「特別勘定レポート」にてご確認ください。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニット・プライスの値動きとは異なります。ユニット・プライス算出のためには、組入れファンドの損益に、保険契約の異動（解約・積立金移動等）に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、為替ヘッジコスト（為替ヘッジ付の特別勘定の場合）、特別勘定管理運営費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用実績を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、各運用会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

- ① 主として日本株を投資対象とします。
- ② 個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。

設定来の運用実績 (2025年11月28日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント (2025年11月28日現在)

当月の東京株式市場は、好業績銘柄への物色が広がり、TOPIXは上昇が続きました。一方で、AI(人工知能)関連株の調整が重なり、日経平均株価は下落しました。

これまでの上昇を受けた利食い売りや米ハイテク株安を背景としたAI関連株の急落により、日本株は軟調に始まりましたが、米連邦政府機関の再開期待や円安ドル高の進行、好決算銘柄への買いが下支えとなり、相場は次第に持ち直しました。AI関連株の影響が大きい日経平均株価の戻りは限定的だったものの、TOPIXは終値ベースで史上最高値を更新しました。その後、追加利下げに慎重なFRB(米連邦準備制度理事会)高官の発言を受け米利下げ観測が後退し、米国株が調整したことに加え、日中関係の悪化懸念も重なり、一時的に下値を模索する展開となりました。しかし、米半導体大手の好決算を受けて切り返すと、雇用や消費の減速を示す米経済指標の公表により利下げ観測が再び高まる中、好業績銘柄への物色が広がり、株価は底堅く推移して月を終えました。

月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+1.42%、日経平均株価は-4.12%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース)

資産別組入状況

株式	98.9%
新株予約権証券(ワラント)	-
投資信託・投資証券	-
現金・その他	1.1%

市場別組入状況

東証プライム	97.8%
東証スタンダード	0.7%
東証グロース	0.4%
その他市場	-

組入上位5業種

電気機器	24.7%
銀行業	10.6%
輸送用機器	7.6%
建設業	6.9%
情報・通信業	5.6%

(対純資産総額比率)

- * 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
- * 業種は東証33業種に準じて表示しています。
- * 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

商品概要	
形態	追加型投信／国内／株式
投資対象	わが国の株式等
設定日	2001年10月30日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

累積リターン (2025年11月28日現在)						
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.08%	10.49%	20.66%	26.94%	55.48%	408.62%
ベンチマーク	1.42%	10.92%	21.95%	29.17%	83.09%	396.53%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

※ ベンチマーク: TOPIX(配当込)

* TOPIX(配当込)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。

* 東証株価指数(TOPIX) (以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり／税込)

第19期(2020.11.30)	0円
第20期(2021.11.30)	0円
第21期(2022.11.30)	0円
第22期(2023.11.30)	0円
第23期(2024.12.02)	0円

純資産総額	149.3 億円	(2025年11月28日現在)
-------	----------	-----------------

組入上位10銘柄 (マザーファンド・ベース) (2025年10月31日現在)			
	銘柄	業種	比率
1	日立製作所	電気機器	5.6%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.3%
3	ソニーグループ	電気機器	4.5%
4	トヨタ自動車	輸送用機器	3.6%
5	伊藤忠商事	卸売業	2.9%
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.6%
7	東京海上ホールディングス	保険業	2.4%
8	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.1%
9	きんでん	建設業	2.0%
10	キーエンス	電気機器	1.9%

(組入銘柄数: 182)

上位10銘柄合計 32.8%
(対純資産総額比率)

- ・当資料は、「グッドステージ-新変額個人年金保険」の各特別勘定が主たる運用対象とする投資信託について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料で開示される投資信託の運用状況等はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定のユニット・プライス等については、「特別勘定レポート」にてご確認ください。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニット・プライスの値動きとは異なります。ユニット・プライス算出のためには、組入れファンドの損益に、保険契約の異動（解約・積立金移動等）に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、為替ヘッジコスト（為替ヘッジ付の特別勘定の場合）、特別勘定管理運営費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用実績を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、各運用会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

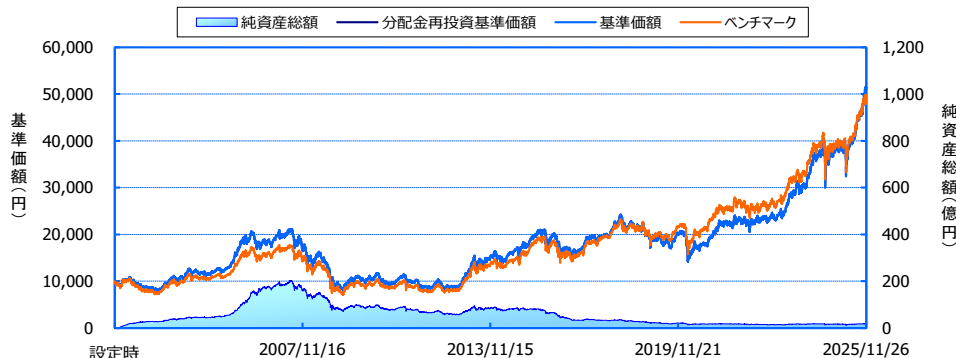
《基準価額・純資産の推移》

当初設定日(2001年11月28日)～2025年11月28日

2025年11月28日時点

基準価額	51,376円
純資産総額	18.38億円

期間別騰落率		
期間	ファンド	ベンチマーク
1カ月間	+3.2 %	+1.4 %
3カ月間	+14.5 %	+10.9 %
6カ月間	+28.2 %	+21.9 %
1年間	+35.8 %	+29.2 %
3年間	+111.4 %	+83.1 %
5年間	+169.8 %	+117.2 %
年初来	+31.2 %	+24.2 %
設定来	+413.8 %	+397.9 %



- ※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。
- ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しております。
- ※当ファンドは東証株価指数(TOPIX)(配当込み)をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。
- ※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年・月)	分配金
第1～18期	合計: 0円
第19期	(20.03) 0円
第20期	(21.03) 0円
第21期	(22.03) 0円
第22期	(23.03) 0円
第23期	(24.03) 0円
第24期	(25.03) 0円
分配金合計額	設定来: 0円

※分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成			国内株式 業種別構成		合計94.9%
資産	銘柄数	比率	東証33業種名	比率	
国内株式	114	94.9%	銀行業	12.9%	
国内株式先物	1	1.3%	電気機器	12.2%	
不動産投資信託等	---	---	輸送用機器	8.2%	
コール・ローン、その他	---	5.1%	機械	6.5%	
合計	115	---	非鉄金属	6.4%	
国内株式 市場・上場別構成	合計94.9%		卸売業	6.2%	
東証プライム市場		94.7%	建設業	6.1%	
東証スタンダード市場		0.2%	保険業	4.4%	
東証グロース市場		---	情報・通信業	4.3%	
地方市場・その他		---	その他	27.7%	
組入上位10銘柄			合計33.7%		
	銘柄名		東証33業種名	比率	
	住友電工		非鉄金属	4.4%	
	三菱UFJフィナンシャルG		銀行業	4.3%	
	三井住友フィナンシャルG		銀行業	4.2%	
	日本電気		電気機器	4.1%	
	小松製作所		機械	3.4%	
	東京海上HD		保険業	3.3%	
	トヨタ自動車		輸送用機器	3.0%	
	鹿島建設		建設業	2.4%	
	アイシン		輸送用機器	2.3%	
	丸 紅		卸売業	2.3%	

ファンドマネージャーのコメント

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

【株式市況】11月の国内株式市場は上昇しました。月初は過熱感の強まりからAI・半導体関連株に利益確定とみられる売りが広がり、やや軟調に推移しました。月半ばにかけては、米政府機関閉鎖解除への期待や円安進行を背景に堅調に推移しました。その後、日中関係の悪化や国内金利の上昇が株価の重荷となった局面もありましたが、米エヌビディアの好決算や米利下げ期待の高まりを受けて、月末にかけて再び上昇基調で推移しました。

【運用経過】ポートフォリオの構築に際しては、日米の政策動向を勘案しつつ、今後の業績回復や好調な業績の継続性などに注目して銘柄を入れ替えました。また、自己株式の取得や配当金の増額などの株主還元を通じて、資本効率の改善が期待される銘柄に注目しました。具体的には、堅調な業績を背景に、株主還元の改善が目される電力関連株や、米国の関税政策の影響から業績と株価が低迷したものの、今後の欧米における受注回復が目される機械関連株、直近の業績が停滞しているものの来期にかけて主要事業を軸に回復が期待される電子部品関連株のウエートを引き上げました。一方で、株価上昇によって、さらなる株価評価余地が限定的と判断した電気機器関連株や、遊技機関連株のウエートを引き下げました。このような売買や株価変動により、業種構成では輸送用機器、医薬品、銀行業などの比率が上昇し、情報・通信業、電気機器、ゴム製品などの比率が低下しました。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

- ・当資料は、「グッドステージ-新変額個人年金保険」の各特別勘定が主たる運用対象とする投資信託について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料で開示される投資信託の運用状況等はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定のユニット・プライス等については、「特別勘定レポート」にてご確認ください。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニット・プライスの値動きとは異なります。ユニット・プライス算出のためには、組入れファンドの損益に、保険契約の異動（解約・積立金移動等）に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、為替ヘッジコスト（為替ヘッジ付の特別勘定の場合）、特別勘定管理運営費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用実績を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、各運用会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

《基準価額・純資産の推移》

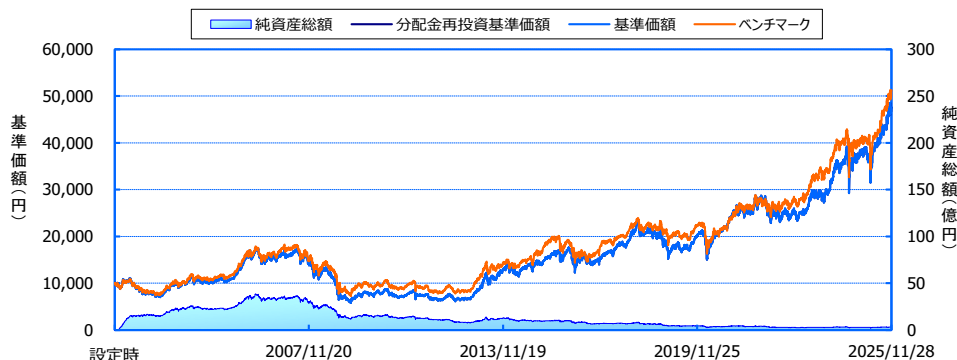
当初設定日(2001年11月30日)～2025年11月28日

2025年11月28日時点

基準価額	47,558円
純資産総額	3.25億円

期間別騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1カ月間	-0.4%	+1.4%
3カ月間	+11.7%	+10.9%
6カ月間	+20.5%	+21.9%
1年間	+28.4%	+29.2%
3年間	+87.8%	+83.1%
5年間	+97.6%	+117.2%
年初来	+24.5%	+24.2%
設定来	+375.6%	+412.7%



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しております。

※当ファンドは東証株価指数(TOPIX)(配当込み)をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。

※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年・月)	分配金
第1～18期	合計: 0円
第19期	(20.03) 0円
第20期	(21.03) 0円
第21期	(22.03) 0円
第22期	(23.03) 0円
第23期	(24.03) 0円
第24期	(25.03) 0円
分配金合計額	設定来: 0円

※分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成			国内株式 業種別構成		合計96.7%
資産	銘柄数	比率	東証33業種名	比率	
国内株式	64	96.7%	電気機器	28.9%	
国内株式先物	---	---	機械	9.2%	
不動産投資信託等	---	---	情報・通信業	9.0%	
コール・ローン、その他		3.3%	その他製品	7.7%	
合計	64	100.0%	非鉄金属	6.5%	
国内株式 市場・上場別構成		合計96.7%	精密機器	5.7%	
東証プライム市場		96.7%	サービス業	5.2%	
東証スタンダード市場		---	小売業	5.0%	
東証グロース市場		---	化学	4.8%	
地方市場・その他		---	その他	14.8%	
組入上位10銘柄			合計45.3%		
銘柄名			東証33業種名	比率	
ソニーグループ			電気機器	7.8%	
住友電工			非鉄金属	6.5%	
アドバンテスト			電気機器	4.6%	
リクルートホールディングス			サービス業	4.2%	
三菱重工業			機械	4.2%	
三井不動産			不動産業	3.7%	
キーエンス			電気機器	3.7%	
富士通			電気機器	3.6%	
HOYA			精密機器	3.5%	
任天堂			その他製品	3.5%	

ファンドマネージャーのコメント

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

11月の国内株式市場は上昇しました。月初は過熱感の強まりからAI・半導体関連株に利益確定とみられる売りが広がり、やや軟調に推移しました。月半ばにかけては、米政府機関閉鎖解除への期待や円安進行を背景に堅調に推移しました。その後、日中関係の悪化や国内金利の上昇が株価の重荷となった局面もありましたが、米エヌビディアの好決算や米利下げ期待の高まりを受けて、月末にかけて再び上昇基調で推移しました。

ベンチマークと比較して、業種では、不動産業のオーバーウエートや輸送用機器のアンダーウエートなどはプラスに寄与しましたが、銀行業のアンダーウエートや電気機器のオーバーウエートなどはマイナス要因となりました。個別銘柄では、堅調な業績動向などが好感された電線関連銘柄やエンタテインメント関連銘柄などがプラスに寄与しましたが、短期的に利益確定機運が高まった重工業関連銘柄や半導体関連銘柄などはマイナス要因となりました。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

・当資料は、「グッドステージ-新変額個人年金保険」の各特別勘定が主たる運用対象とする投資信託について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・当資料で開示される投資信託の運用状況等はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定のユニット・プライス等については、「特別勘定レポート」にてご確認ください。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニット・プライスの値動きとは異なります。ユニット・プライス算出のためには、組入れファンドの損益に、保険契約の異動（解約・積立金移動等）に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、為替ヘッジコスト（為替ヘッジ付の特別勘定の場合）、特別勘定管理運営費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用実績を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、各運用会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

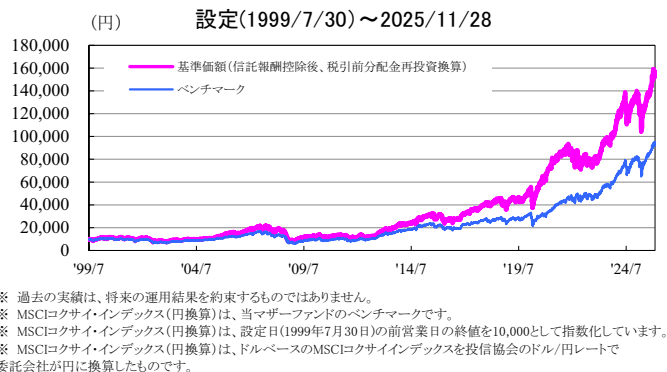
◆基準価額の推移



基準価額	113,190円
純資産総額	59.1億円
騰落率	
	基準価額
1ヵ月	-1.1%
3ヵ月	13.8%
6ヵ月	24.8%
1年	19.7%
3年	90.8%
設定来	1031.9%

投資対象であるマザーファンド(インターナショナル株式マザーファンド)の運用状況

◆基準価額の推移



基準価額	156,904円		
純資産総額	3,678.9億円		

騰落率			
	基準価額	ベンチマーク	差異
1ヵ月	-1.0%	1.6%	-2.6%
3ヵ月	14.2%	11.5%	2.7%
6ヵ月	25.7%	24.3%	1.4%
1年	21.6%	21.7%	-0.1%
3年	99.1%	97.3%	1.8%
設定来	1469.0%	853.1%	615.9%

(注)ファンドの騰落率は単純騰落率。
騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

◆上位組入銘柄

組入89銘柄中 上位10銘柄

順位	銘柄	国名	業種	組入比率
1	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.9%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	4.7%
3	APPLE INC	アメリカ	情報技術	3.7%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	3.6%
5	BROADCOM INC	アメリカ	情報技術	3.3%
6	UNILEVER PLC	イギリス	生活必需品	3.2%
7	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	2.9%
8	ADYEN NV	オランダ	金融	1.9%
9	CME GROUP INC	アメリカ	金融	1.9%
10	ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	1.9%

◆地域別配分

地域	組入比率
西欧	19.5%
東欧	0.0%
中東	0.7%
アフリカ	0.0%
北米	62.1%
中米	4.6%
南米	0.0%
アジア	11.3%
オセアニア	0.0%
その他	0.0%

◆業種別投資配分

業種	組入比率
エネルギー	1.5%
素材	1.1%
資本財・サービス	7.6%
一般消費財・サービス	6.9%
生活必需品	3.2%
ヘルスケア	7.0%
金融	16.1%
情報技術	42.6%
コミュニケーション・サービス	10.2%
公益事業	1.8%
不動産	0.0%
その他	0.0%

◆世界株式市場の今後の見通し

世界経済は依然、不確実性が高く、米国の地政学的立場や貿易政策の影響が懸念されていますが、AI投資の急拡大や米国の継続的な財政拡張、規制緩和、中央銀行の緩和的な政策姿勢が市場とリスク資産の上昇を支えてきました。一方で、高インフレや地政学的不安は、安定成長を維持してきた企業の重石となっています。この二極化した市場環境で、構造的成長が見込まれる企業への投資を強化し、逆に構造的課題が障害となる企業への投資は回避します。また、常にバリュエーション(投資価値評価)を精査し、リスク管理を徹底することで、ポートフォリオの持続的な成長と収益最大化を目指します。

※ 当ファンドは株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。従って預金とは異なる元本や利息が保証されているものではありません。※ 当資料は受益者の皆様への情報提供を目的として三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。運用に関する情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。

世界債券 (A) / JDF ワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)

・当資料は、「グッドステージ-新変額個人年金保険」の各特別勘定が主たる運用対象とする投資信託について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・当資料で開示される投資信託の運用状況等はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定のユニット・プライス等については、「特別勘定レポート」にてご確認ください。

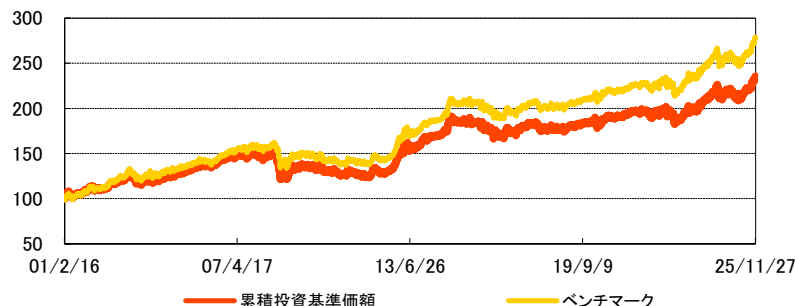
・特別勘定を用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニット・プライスの値動きとは異なります。ユニット・プライス算出のためには、組入れファンドの損益に、保険契約の異動（解約・積立金移動等）に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、為替ヘッジコスト（為替ヘッジ付の特別勘定の場合）、特別勘定管理運営費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用実績を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、各運用会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

為替ヘッジなし

累積投資基準価額の推移



※設定時を100とした指数値を使用しています。
※累積投資基準価額は税引前分配金を再投資したものとして算出しています。
※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(円ベース)です。

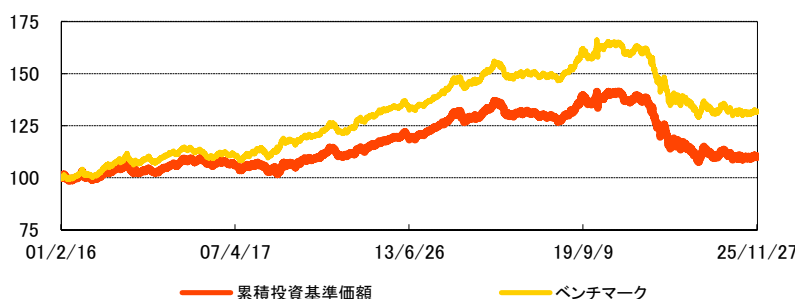
パフォーマンス (%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	1.76	7.03	10.84	9.11	22.03	23.56	135.84
ベンチマーク	1.57	7.02	10.55	8.74	23.54	27.04	178.64

※ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして算出した累積投資基準価額により計算しています。
※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(円ベース)です。

為替ヘッジあり

累積投資基準価額の推移



※設定時を100とした指数値を使用しています。
※累積投資基準価額は税引前分配金を再投資したものとして算出しています。
※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(円ヘッジ円ベース)です。

パフォーマンス (%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	-0.12	0.62	0.76	-1.03	-6.09	-21.86	10.38
ベンチマーク	-0.07	0.78	0.79	-0.73	-4.99	-19.89	32.03

※ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして算出した累積投資基準価額により計算しています。
※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(円ヘッジ円ベース)です。

ファンドの投資方針

- 世界主要国の国債等(国債、政府機関債、国際機関債)を中心に公社債に投資します。
- 投資する公社債は、取得時において投資適格格付(BBBマイナス、Baa3または同等の格付、またはそれ以上の格付)が付与されているもの、または同等の信用度を有すると判断されるものとします。国債の他、投資適格格付を付与されている社債、資産担保証券等にも投資します。
- FTSE世界国債インデックスをベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
「為替ヘッジなし」: FTSE世界国債インデックス(円ベース)
「為替ヘッジあり」: FTSE世界国債インデックス(円ヘッジ円ベース)
- 為替ヘッジについては、「為替ヘッジなし」は原則として為替ヘッジを行いません。「為替ヘッジあり」は原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
- ファミリーファンド方式により運用を行います。

ファンドデータ

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
基準価額	23,584円	11,038円
純資産総額	15.39億円	36.57億円
ファンド設定日	2001年2月16日	

税引前分配金

		為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
分配金累計額		0円	0円
第44期	2023年3月15日	0円	0円
第45期	2023年9月15日	0円	0円
第46期	2024年3月15日	0円	0円
第47期	2024年9月17日	0円	0円
第48期	2025年3月17日	0円	0円
第49期	2025年9月16日	0円	0円

FTSE世界国債インデックスとは

FTSE世界国債インデックスとは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

本資料は、当ファンドの理解を深めていただく為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見直し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。

<参考> グッドステージ - 新変額個人年金保険〔投資対象ファンドの運用レポート〕
世界債券（A） / JDF ワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

2025年
11月末現在

- ・当資料は、「グッドステージ-新変額個人年金保険」の各特別勘定が主たる運用対象とする投資信託について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料で開示される投資信託の運用状況等はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定のユニット・プライス等については、「特別勘定レポート」にてご確認ください。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニット・プライスの値動きとは異なります。ユニット・プライス算出のためには、組入れファンドの損益に、保険契約の異動（解約・積立金移動等）に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、為替ヘッジコスト（為替ヘッジ付の特別勘定の場合）、特別勘定管理運営費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用実績を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、各運用会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

為替ヘッジなし

国別通貨別構成比率（％）

国名	ベンチマーク	債券	通貨
米国	41.9	46.1	40.6
カナダ	1.9	0.9	1.9
メキシコ	0.8	2.1	0.8
南アフリカ	-	-	0.0
日本	9.0	8.7	8.1
オーストラリア	1.1	1.0	1.2
ニュージーランド	0.3	-	0.3
シンガポール	0.4	0.6	0.4
中国	10.7	10.3	10.7
マレーシア	0.5	1.0	1.0
韓国	-	1.1	1.1
インドネシア	-	0.2	0.2
ユーロ通貨圏	26.8	28.1	26.7
オーストリア	1.0	1.2	
ベルギー	1.4	1.6	
フィンランド	0.5	0.5	
フランス	6.6	6.7	
ドイツ	5.2	3.5	
アイルランド	0.4	0.4	
イタリア	6.2	7.5	
ルクセンブルグ	-	0.3	
オランダ	1.2	1.4	
スペイン	3.9	4.6	
ポルトガル	0.5	0.3	
非ユーロ通貨圏	6.4	7.7	6.7
英国	5.3	5.9	5.5
デンマーク	0.2	0.3	0.2
スウェーデン	0.2	0.3	-0.1
スイス	-	-	0.0
ポーランド	0.6	0.8	0.7
ノルウェー	0.2	0.3	0.4
チェコ	-	-	0.0
ハンガリー	-	0.1	-
イスラエル	0.4	-	0.4
国際機関	-	1.6	-
キャッシュ等	-	-9.3	-
合計	100.0	100.0	100.0

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2025年12月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物(先物の売建てはマイナス表示)を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

債券上位組入10銘柄（％）

銘柄数：343						
銘柄名	種別	国名	利率	償還年月日	比率	
1 UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.5% 2027/09/30	国債	アメリカ	3.500	2027/9/30	7.0	
2 UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.625% 2030/09/30	国債	アメリカ	3.625	2030/9/30	2.6	
3 FRENCH REPUBLIC GOVERNMENT BOND OAT 2.75% 2029/02/25	国債	フランス	2.750	2029/2/25	2.3	
4 373 10年国債	国債	日本	0.600	2033/12/20	1.8	
5 364 10年国債	国債	日本	0.100	2031/9/20	1.7	
6 UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.125% 2027/10/31	国債	アメリカ	4.125	2027/10/31	1.4	
7 SPAIN GOVERNMENT BOND 1.4% 2028/04/30	国債	スペイン	1.400	2028/4/30	1.3	
8 54 30年国債	国債	日本	0.800	2047/3/20	1.1	
9 KOREA TREASURY BOND 2.5% 2030/09/10	国債	韓国	2.500	2030/9/10	1.1	
10 MEXICO GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND 3.75% 2028/01/11	国債	メキシコ	3.750	2028/1/11	1.1	

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

組入債券の格付（％）

AAA/Aaa	15.8
AA/Aa	33.6
A	36.2
BBB	13.1
BB	-
NR	1.3

※S&P、ムーディーズのいずれか高い格付けを使用

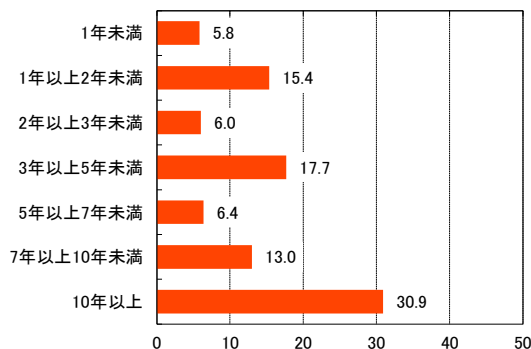
※組入債券全体を100とした場合の構成比、マザーファンドベース

修正デュレーション（年）

当ファンド（*）	6.99
ベンチマーク	6.67

*マザーファンドベース

債券残存期間別比率（％）



※ 比率は対純資産総額、マザーファンドベース、先物を含みません

※ TBA取引の売建てはマイナス表示しています

本資料は、当ファンドの理解を深めていただく為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見通し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。

- ・当資料は、「グッドステージ-新変額個人年金保険」の各特別勘定が主たる運用対象とする投資信託について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料で開示される投資信託の運用状況等はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定のユニット・プライス等については、「特別勘定レポート」にてご確認下さい。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニット・プライスの値動きとは異なります。ユニット・プライス算出のためには、組入れファンドの損益に、保険契約の異動（解約・積立金移動等）に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、為替ヘッジコスト（為替ヘッジ付の特別勘定の場合）、特別勘定管理運営費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用実績を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、各運用会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

- ①日本を含む世界各国の株式、債券および短期金融商品に分散投資を行います。
- ②資産配分については、複合ベンチマークの配分を中心とした緩やかな調整を行います。

設定来の運用実績

(2025年11月28日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

純資産総額	5.0 億円	(2025年11月28日現在)
-------	--------	-----------------

商品概要

形態	追加型投信／内外／資産複合
投資対象	日本を含む世界各国の株式、債券および短期金融商品
設定日	2001年10月30日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

累積リターン

(2025年11月28日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.15%	6.94%	13.69%	11.10%	41.78%	235.42%
ベンチマーク	1.54%	9.28%	16.82%	17.45%	55.21%	301.55%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

※ベンチマーク：複合ベンチマーク(円ベース)

※複合ベンチマーク(円ベース)は、TOPIX(配当込)+1(25%)、MSCIワールド・インデックス(除く日本/税引前配当込)*2(25%)、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(為替ヘッジなし、円ベース)*3(50%)から構成されています。

※複合ベンチマーク(円ベース)は設定から2023年2月末まではTOPIX(配当込)(25%)、MSCIワールド・インデックス(除く日本/税引前配当込)(25%)、FTSE日本国債インデックス(日本円ベース)(15%)、FTSE世界国債インデックス(除く日本)(10%)、FTSE世界主要マーケット・インデックス(リユーロ)の複合インデックス(円ベース)(15%)、FTSE米短期国債インデックス1ヶ月米国債インデックス(10%)で合成したものでした。ベンチマークについては、これらを連結させて計算しています。

※1 TOPIX(配当込)は、日本の株式市場を広く網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。))の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

※2 合成リターンは、MSCIからライセンス付与された営業時間終了時の指数水準値(以下「MSCIデータ」)を使用してフィデリティ投信株式会社計算します。疑義を避けるために明記すると、MSCIは合成リターンに対するベンチマークの「管理者」、または「発出者」、「提出者」、あるいは「監督下にある発出者」ではなく、またMSCIデータは、いかなる規則、法令、法律または国際基準において定義される、合成リターンに関連する「発出」または「提出」とみなされません。MSCIデータは、保証や責任を伴わない「現状のまま」提供され、コピーや配布は許可されていません。MSCIは、MSCIデータ、モデル、分析、その他の素材や情報に基づき、または追跡する、あるいはそれらを利用したいいかなる金融商品や戦略を含め、いかなる投資または戦略のストラテジー、宣伝、発行、販売、またはその他の推奨あるいは推薦を行うものでもありません。

※3 Bloomberg®およびブルームバーグ・グローバル総合インデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited(以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークであり、フィデリティ投信株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはフィデリティ投信株式会社とは無関係にあり、また、当ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

過去5期分の収益分配金(1万円当たり/税込)

第 17期(2018.11.30)	0円
第 18期(2019.12.02)	0円
第 19期(2020.11.30)	0円
第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円

コメント

(2025年11月28日現在)

【米国株式】月間騰落率は、S&P500種指数が+0.13%、ダウ工業株30種平均は+0.32%、ナスダック指数は-1.51%。米国株式は一進一退の推移となりました。巨額のAI投資に対する懸念が重石となった一方、米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げ期待の高まりが下支えとなり、株式市場は小幅に上昇しました。AI関連企業の決算発表で業績は概ね良好となったものの、各社の巨額のAI投資の回収可能性や関連企業間でのパートナーシップの強まりに対する懸念から、月中旬にかけてテック/ロジック株式を中心に軟調な推移となりました。一方で、政府閉鎖が終了したことで投資家心理が回復したことや、FRBの複数の高官発言から追加利下げ期待が高まったことが市場の下支えとなりました。政府閉鎖の終了により9月の雇用統計の発表が注目されましたが、好悪材料まちまちの結果となり、市場への影響は限定的となりました。【欧州株式】MSCIヨーロッパ・インデックスの月間騰落率は+0.96%。月上旬は、複数の米金融大手が株式市場の調整に方向性があること指摘したことや米国でAI関連銘柄の割高感が意識されたことから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧州の市場も軟調な推移となりました。月中旬は、米政府機関の一部閉鎖の解除に近いとの見方や良好な決算を発表した企業などに買いが入り、上昇しました。しかし、米国で追加利下げ観測が後退したことや英国で財政悪化への懸念が高まり、市場は下落に転じました。月下旬は、米国で年内の利下げ期待が再び高まったことから投資家心理が改善し、ハイテク株が買われ、欧州でも間ASMLや独インフィニオンなどが上昇しました。また、英国の予算案発表を受け財政懸念が後退したことも市場を支えました。しかし、月を終えてみると、一部の欧州株式市場は値を戻しきれず、まちまちとなりました。

【日本株式】TOPIX(配当込)は+1.42%。当月の東京株式市場は、好業績銘柄への色が広がりと、TOPIXは上昇が続きました。一方で、AI(人工知能)関連株の調整が重しとなり、日経平均株価は下落しました。これまでの上昇を受けた利食い売りや米/ハイテク株安を背景としたAI関連株の急落により、日本株は軟調に始まり、日本株は軟調に始まり、米連邦政府機関の再開期待や円安/円高の進行、好決算銘柄への買いが下支えとなり、相場は次第に持ち直しました。AI関連株の影響が大きい日経平均株価の戻りは限定的だったものの、TOPIXは好業績銘柄で上最高値を更新しました。その後、追加利下げに慎重なFRB(米連邦準備制度理事会)高官の発言を受け米利下げ観測が後退し、米国株が調整したことに加え、日中関係の悪化懸念も重なり、一時的に下値を探索する展開となりました。しかし、米半導体大手の好決算を受けて切り返す、雇用や消費の減速を示す米経済指標の公表により利下げ観測が再び高まる中、好業績銘柄への色が広がり、株価は底堅く推移して月を終えました。

【海外債券】米国債相場は上昇。米10年国債利回りは前月の4.09%から4.01%へ。その他先進国債は下落。ユーロ建10年国債利回りは前月の2.52%から2.57%へ。イギリスの10年国債利回りは4.32%から4.38%へ。カナダの10年国債利回りは2.99%から3.01%へ。

【国内債券】国内債券相場は、NOMURA-BPI国債で-1.21%。10年国債利回りは1.66%から1.80%へ。

【為替】米ドル/円相場は、約1.29%の円安(1米ドル=154.06円→156.05円)。

ユーロ/円相場は、約1.85%の円安(1ユーロ=177.81円→181.1円)。

※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンド、およびベンチマークの動向と異なる場合があります。

ポートフォリオの状況 (マザーファンドベース)

(2025年10月31日現在)

株式

組入投資信託証券	比率
フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド(適格機関投資家専用)	24.8%
フィデリティ・ファンズー・アメリカン・グロース・ファンド	21.0%
フィデリティ・ファンズー・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	3.8%
フィデリティ・ファンズー・ヨーロッパ・スモーク・カンパニー・ファンド	1.0%
フィデリティ・ファンズー・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	0.9%
フィデリティ・ファンズー・アジア株式・ESGファンド	0.3%
合計	51.8%

債券・短期金融資産等

組入投資信託証券	比率
フィデリティ・インスティテュショナル・グローバル・ボンド・ファンド(除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家販売限定付き)	44.8%
iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	1.9%
合計	46.7%

(ご参考)

組入上位5ヶ国・地域

アメリカ	43.9%
日本	26.5%
ドイツ	8.4%
イギリス	5.2%
中国	2.5%

組入上位5通貨

アメリカ・ドル	49.6%
日本・円	26.5%
ユーロ	11.6%
イギリス・ポンド	4.0%
中国・元	2.3%

(対純資産総額比率)

※フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日と異なる場合があります。概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。